

第7講
「ITで教育が変わる」

01 初等教育の情報化

- パソコンやインターネットの利用環境
- 情報科目の正課化

02 大学の情報化

- 改革を迫られる大学
- 授業での改革
- 授業以外の情報化

01 初等教育の情報化

▶ 小中高などの初等教育での情報教育

「e-Japan」

インターネット個人普及率向上
IT関連の修士・博士号の増加 etc.



「ミレミアム・プロジェクト」等
国の政策



重要性を認識



「こねっとプラン」等
民間の支援

■ パソコンやインターネットの利用環境

国の情報教育の推進スケジュール
2005年度末を目標に

「全ての小中高等学校」



アクセス

インターネット

「全ての学級」の「あらゆる授業」



アクセス

コンピュータ・インターネット



教員及び児童生徒が
活用できる環境を整備

▶ 国の情報教育の推進スケジュール 全ての公立小中高等学校

2001年度

インターネット

「学校接続」



学校

2004年度

「校内ネットワーク」

LAN

「教室接続」



教室

2005年度

パソコン

普通教室：各2台

特別教室：各6台

児童生徒5.4人/台水準

プロジェクターの設置も行う

小学校 コンピュータ教室

1人1台の環境へ

■ 情報科目の正課化

1993年3月
高等学校学習指導要領 改訂

2003年
高校で情報科目が正課に

+α
2022年度
高校の共通必修科目 「情報Ⅰ」

2025年度
「情報Ⅰ」大学入学共通テスト 実施

▶ 普通教育の目標



▶ 専門教育の目標



02 大学の情報化

大学での情報教育



大学独自の考えによる
改革が必要

▶ 高度な情報教育

情報分野での研究者・技術者の育成

▶ 基本的な情報教育

一般社会人、情報の活用に必要

- 基本的な情報技術
- 情報リテラシー

■ 改革を迫られる大学

大学(短大も含む)での情報教育の高度化の要求

他学との差別化を図る必要がある

少子化の影響で学生獲得競争が激化

就職時に有利な能力の習得の希望

IT革命により情報関連分野の充実を重視

■ 授業での改革

授業でマルチメディア利用が行われるようになった

授業科目の充実

インターネット
パソコン



マルチメディア
データ処理

情報機器の活用

情報技術の活用

アナログでの板書



デジタル資料を
プロジェクターで投影

パソコンへ資料を取り込み

家庭学習・遠隔授業

高速回線を安価で利用



デジタル教材での復習
電子メールでの質疑応答

他大学との遠隔授業

■ 授業以外の情報化

学生への連絡サービス
インターネットサイト



休講情報
期末試験の結果

サイボウズ

事務の合理化

配布物の電子化



シラバス
時間割



履修計画
(コンピューター上で)

+ α

進学希望者・会社

シラバス
研究報告

専門分野の易しい解説

公開



大学のPR・社会貢献



情報発信能力の向上
情報倫理への関心

ご清聴ありがとうございました